

KYOEI NEWS

 **共栄システム株式会社**
 〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番7号
 TEL(06)-6535-7511 FAX(06)-6535-7517
 e-mail osaka@kyoeisystem.co.jp
 URL http://www.kyoeisystem.co.jp

〈運送会社の経営情報〉



休憩時間の取り扱い

首都圏にあるA社は、休憩時間と残業代の問題で苦慮していました。同社に勤務する乗務員の殆どが、顧客の遅延防止のために極端な早発を行うことにより、デジタコ上、労働時間が長くなり毎月かなりの残業代が発生していたからです。また、労働時間と休憩時間の取り決めもはっきりせず、とりあえず就業規則に定められた1時間を「みなし休憩時間」として処理していました。

休憩時間の取り扱いのポイントは以下の点にあります。

1.改善基準により、連続運転4時間毎に休憩時間30分以上が必要

2.荷積み荷卸し待ちの時間をどのように取り扱うか

3.遅刻や遅延防止のための極端な早発(出社・出発時間)による現場での待機時間

これらの点については労働時間と休憩時間の区分が難しく、すべてを休憩時間と取扱うことは、法的にも無理があります。しかし、現実には車内で休憩しているのが実態です。

A社の社長は、思案した挙句、次のような規定を設けました。

【A社の改正規定案】

(所定労働時間、始業・終業の時刻および休憩時間)

第〇条 所定労働時間は、1日につき8時間00分とし、始業時刻、終業時刻および休憩時間は、原則として次のとおりとします。



始業	8時30分
終業	17時45分
休憩時間	12時00分～13時00分 15時00分～15時15分

2 前項の始業および終業の時刻は、実質的に業務を開始した時刻および終了した時刻のことであり、出社および退社時刻ではありません。

3 自動車運転手については、各勤務日の始業時刻、終了時刻および休憩時間は、各人の輸送コース別に会社の指示によるものとします。

4 自動車運転手の休憩時間は下記のとおりとします。

1)昼休憩時間は、原則として1時間とします。

昼休憩(原則：12時00分～13時00分) 60分

2)連続運転4時間毎の休憩時間 適宜休憩をとることとします

3)上記以外、顧客先での荷積み・荷卸し待ちの時間については、可能な場合、適宜休憩をとることとします。



上記規定の趣旨は、所定の休憩時間以外にも、改善基準や運行内容により休憩時間を適宜取ることがある旨を示しておくことにあります。現実には、乗務員はデジタコの休憩時間のボタンを押さないことが多いので、実際の労働時間はデジタコの表示よりも少ないということを言いたいためです。

※※共栄ニュースはeメールによる配信も承ります。※※

ご要望の際はメールアドレスをFAX(06-6535-7517)までご連絡ください。

貴社名		アドレス	
-----	--	------	--